

胃がん検診について

胃がんは、日本人のがん死亡率で上位です。しかし、早い段階で手術をすれば治すことができますし、手術の負担も軽くできます。

ただし、最初は自覚症状がないため、早期発見には定期的な検診が欠かせません。とくに、40歳を越えると発症率が急上昇しますので、2年に1回は検診されることをおすすめいたします。

対象者

40歳以上の市民の方(今年度中に40歳になられる方を含む)で、お勤め先等で胃がん検診を受ける機会がない方

※胃疾患の治療中・経過観察中の方は対象となりません。(疾病の早期発見のための検診です。)

※会社等の検診・被扶養者検診で同等の検診を受ける機会がある方は対象外です。会社等の検診を受診してください。

※胃疾患の既往歴がある方、以前精密検査と診断された方は個別検診をお勧めしております。集団検診では、前回の検診結果を考慮した判定ではありません。そのため、既往歴がある方、以前精密検査となった方は同症状で精密検査となる可能性があります。

実施期間

集団検診：日時指定で行われます。詳しくは「令和4年度がん検診のご案内」をご覧ください。

個別検診：6月～10月

受診回数

集団検診または個別検診のどちらかを

1年度(4月～翌年3月)に1回。

検診内容

問診及び胃部エックス線透視撮影を行います。

※妊娠中及び妊娠の疑いのある方や、現在胃の疾患で治療中または術後の方は受けられませんのでご注意ください。

検診料(自己負担金)

集団検診：500円

個別検診：2800円

※検診の結果、精密検査が必要となった場合、検査費・治療費等は別途費用が発生しますので、ご了承ください。

※がん検診の検診料(自己負担金)が免除される制度があります。
詳しくは「自己負担金免除制度について」をご覧ください。